

令和7年度

上八万中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 心豊かにたくましく、未来を拓く生徒の育成
- ・授業改善(指導技術の向上、ICTの活用)をはかり、わかる授業を展開する。
- ・信頼を基盤とした学級経営により、「主体的・対話的で深い学び」の実現。
- ・全教職員で取り組む、ポジティブ行動支援体制づくり。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長	谷口睦子	2年主任	岩根初絵
		教頭	三島令子	3年主任	葉田祐子
	岩根 初絵	教務主任	清水 勝		
		1年主任	原 久枝		

校長

谷口 睦子

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告、アンケート等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○新しい知識や技能を習得することに対して前向きであり、基本的な知識や技能を身につけている。 ●知識の習得が受け身的で、発展的課題に取り組む際のあきらめが早いときがある。	・十分な知識技能を身につけ、発展的な課題に粘り強く取り組むことができる。	・小テストや、毎時間のふりかえりシートを活用するなどして、定着度を自分で確認できる機会を多くする。 ・「正確に読む力」、「必要な情報を取り出す力」を育成し、自立した学習ができることをめざした授業を創造する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを書き出すことや友達に自分の意見を聞いてもらうことが好きであるし、互いの意見を聞き合うことができる。 ●他者にわかりやすく伝えられるように、根拠や理由を交えたり、文を簡潔にまとめたりすることが苦手である。	・獲得した知識を比較・関連して理解する力が身についている。 ・目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力が身についている。	・『徳島版読解力』を育成する学習のイメージをもった授業展開を実践する。そのために、上記をカードにして教師が持つておく。 ・思考力、判断力、表現力の向上につながる授業のあり方を各教員が考え、共有する機会を持つために、相互に授業参観を行う参観ウィークを設定する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業態度が真面目で与えられた課題に前向きに取り組むことができる。友だちと協力しながら学習することが好きである。 ●自らの学びを調整し、課題克服に向けた計画を立てたり、質問をしたりすることについては十分でない。	・学ぶことの意義や喜びを実感し、自らの学びを調整しながら、粘り強く学習に取り組むことができる。	・自分の将来の夢や進路に関連づけながら、自分なりの短期目標と長期目標を設定したり、計画したりする時間を設ける。 ・意欲的に取り組むことができる課題を提示する。 ・生徒用タブレットの活用案を教員間で共有できるように研修を実施する。			

令和7年度 学力向上ロードマップ

